

じます。

本問題の外子供の具ふる美質に就て調べますと  
實に澤山ありまして之を助成して練習し人格の根  
抵を成さしめ智力の基礎を作らしむる上に於て具

## 子供の衛生

### 寒胃の豫防と手當

この間から寒胃が一番はやつて居ります。寒胃  
の豫防として、家に依つては、無暗と着物を澤山  
に着せたり、室を過度に温めたりする家庭もあり  
ますが、それは反つて豫防にはならないのであり  
ます。勿論、寒さに犯されないやうにして置くこ  
とは必要でありますけれども、それ以上に出て人  
工的に温めるよりは、寧ろ、幾らか寒さに慣らす  
やうにして置く方が、豫防としては効果があらう

體的に研究するのは一層の興味があると考へます  
他日機會あれば鄙見を述べて教を乞ひたいと思ひ  
ます。(をばり)

醫學士 石 塚 保 吉

と思ひます。風を引くと云ふことは、温度の變化  
が劇しい爲めに起るので、例へば温かき家の中に  
居つたものが急に外の寒風に遭ふとか、着物を澤  
山に着て居たのを、襦袢を換へる爲めに急に寒く  
すると云ふやうな原因が主となつて居るのであり  
ます。故にさういふ變化をさせない爲めに、平素  
から適度の衣服を着せて置方がよいと思ひます。  
これと反對に、いよく風を引いてからは、寒  
さにならすといふことは、絶対にいけないので、

この間もさう云ふ間違をして居る人がありました  
が、これは大變な誤りで、寒胃になつてからは、  
着物も十分に着せ、室も温め、外へは出さないや  
うにすることが大切であります。室を温めるのに  
火を燃く場合には、それと同時に濕り氣を持たせ  
る爲めに、金盥か何かへ水を入れて火の上に置く  
ことが大事であります。

この場合に、家庭で差し當りせなければならな  
い手當は、風を引くと大低は咽喉が悪くなるのが  
普通でありますから、先づ吸入とシツプをするこ  
とが大切であります。或る人は、家でこの手當を  
やつてはいけないと云ふ人もありますけれども、  
私はいいと思つて居ります。無論、寒胃になれ  
ば醫者へかゝることは必要でありますが、別に害  
にはならないのですから取り敢ずシツプをする方  
がいいので、其のやり方は、ガーゼに水を注いで  
首にまき、その上へ油紙をやつて、又其の上を繻

帯でまいて置けばよろしいのであります。吸入は  
誰れでも御承知のこと、思ひますから別に説明は  
致しません。然しそればかりに倚つて安んじて居  
られては非常に迷惑なので、寒胃は萬病の基と云  
ふことは、どうしても事實なので、寒胃だくと  
いつて居る中に、いろいろな重病に變つて行くも  
のであります。昨夜も夜中に起されて往診致しま  
すと、風を引いて四五日目だと云ふのにもう全體  
の肺炎になつて危急に迫つて居たと云ふやうなこ  
ともありましたので、吸入やシツプをやり、同時  
に醫者へ行くことを忘れてはならないのでありま  
す。寒胃が原になつて起る病氣は氣管支加多留、  
肺炎、咽喉加多留、これから續いては中耳炎、腦  
膜炎であります。兎に角、大抵の病氣は寒胃が元  
になつて起つて來るもので、暫くの間で、どん  
な變化を見ないとも限らないのであります。

風を引いて居る間に、湯に入るとは絶對にいけないので、よくこれを聞く人がありますけれどもこれは嚴禁せなければなりません。湯が風の原因になることさへも往々にあることであります。

勿論、湯其のものは大變いいものであります。湯から上つた後の手當が間違つて居る爲めに、風を引くことが多いのであります。少し熱いと思ふ位の湯に入つて後は、室を温くし、大抵攝氏十八度位)衣モノも夜具も十分に着て、何も用事をせずに、寝かしてしまへば、餘り心配はないのであります。然し夜中子供に便をさせる時などは餘程注意せなければ風を重うする事となりなますから、風の時にはなるべく湯に入らぬ方が宜しいのであります。要するに風の豫防と、風の手當とは大に違つて居るものだと言ふことを忘れてはなりません。

### 百日咳の豫防

これは傳染病の一種でありますから、百日咳の流行する時節には、成るべく外へ出ないやうにすることが大切であります。電車、學校、人込の中に居る間も餘程注意をするやうにせなければなりません。この病氣は容易に治らない質の悪い病であります。この病候と云つても、初めは普通の咳と別に變りはないのであります。然し暫く過つと、コツ／＼と小さな咳が續いて出て、非常に苦しいやうな咳を幾つもした後に、息を後へ長く引き、寢て居る子供だと、眞赤な顔をして起き上つて、うつむき、非常に苦しうな表情をする。かなれば、もう立派な百日咳でありますから、他の子供を側へ寄せないことに注意をする。そして少しでも早く醫者に掛ることが必要であります。此の病は治り悪い病ではあるけれども、早く手當をすれば、苦しみを少くし、又經過も短くすることが出來ます。又、百日咳だけでは、生命に危険

はありませんけれども、これに他の病氣が併發して來ると、中々危険です例へば肺炎等に變化すると命を奪はれる事が多いのであります。世間には百日咳だから心配はいらぬと云つて、擲つて置く人が多ので、この間も、さう云ふ人があつて、とう／＼肺炎になつて死んだ例がありますから、十分注意をせなければなりません。

#### 肺炎の豫防と手當

これも初めは氣管支加多留から變化して來ることが多く、麻疹、百日咳等の傳染病からも續いて來、又初めから肺炎になることもありす。此の病の徴候としては、熱が主なるもので、咳も出るものもあれば出ないものもある。然し子供だと、著しく機嫌が悪くなり、初めは左程でもないが暫くすると、息苦しく、呼吸が劇しくなる、極く悪くなると呼吸困難の爲めに小鼻を動かしたり、腹の水落の邊りをへこまし、もつと酷くなると、唇の色

が變つて來る。さうなると危険が迫つて居るので急に生命を奪ふやうなこともありますから、大急ぎで醫者へ行かなければなりません。この時、醫者のする仕事としては、胸に氷のシツプをするのが普通であります。處が家に依つては、此の寒いのに、而も子供にこんな氷シツプ等をするのは間違つて居るとか、可愛さうだとか云ふ考へから、反つて温めやうとする人もよくあるやうですが、これは大變な間違で、氷で冷すのは藥よりもきくのですから、醫者の言ひ付けを守らなければなりません。又、肺炎の手當は自宅ですることが、困難なものですから、成るべく病院へ入つた方が誤りがないのであります。

#### ジフテリアの豫防と手當

これも傳染病の一でありますから、流行する時には、成るべく外出をさせないやうにして置くことが大切であります。この病氣の徴候は皆左様で

はありませんが、呼吸困難が起ること、熱は比較的に少いものであります。ジフテリアになれば、必ず熱が高くなると思つて居らるゝのが普通のやうですが、それは大間違で、普通の扁桃膜炎と、ジフテリアとの區別は熱の低いことだとせられて居る位であります。咳は犬の吠えるやうな厭やな音を出します。それは喉が狭くなる爲めで、ひつかゝるやうな咳をして、息苦しい情態があれば、ジフテリアだと假定して、大急ぎで醫者の處へ駆けつけなければなりません。この病氣は僅かの時間を争ふ位な病氣で、時間さへ早ければ、血清療法で必ず治る病でありますが、時間を過せば血精注射が效を奏する前に窒息して死ぬるものでありますから、其の徴候があつた場合には、直ぐに醫者を呼ぶことを決して忘れてはなりません。前に云つたやうな犬の吠ゆる様な咳はジフテリアのみではありませんが、其の區別が一つと六ヶしいもの

ですから、さう云ふ咳があればジフテリアと假定して醫者へ行けば間違はありません。ジフテリアの他の徴候は、喉に白いものがつくことで、それが深い處にある時と、浅い處にある時とがあつて浅い處に出た時は咳も餘り起らず危険も少いけれども、危険が少いと云つて擲つて置くくと心臓麻痺を起すことも少くありませんから、喉に白いものが見えた時は、無論大急ぎで醫者を呼ばなければなりません。(完)

附記、本文始めの部分は前號唐澤氏の御説と反對の様に見えますが、決して左様でなく、同氏のは極端なスバスタ風の養育法をとられる人に對する御注意で、私のは夫れと反對な餘り御子様を大事になさり過ぎる方に對して申上げたのです。